

波形パターン利用の簡易手順書

シグナルアナライザ MS2830A /MS2840A

本書は、シグナルアナライザ MS2830A/MS2840Aの（ベクトル信号発生器オプション付き）に対し、波形パターンをコピー／ロード／選択して信号出力するための手順を示します。

【波形パターン利用時の流れ】

- ① 新しい波形パターンを外部メモリから本体ハードディスクへ**コピー（Copy）**します。
- ② 利用する波形パターンを本体ハードディスクから本体波形メモリへ**ロード（Load）**します。
- ③ 波形メモリにロードされた波形パターンの中で、出力する1つを**選択（Select）**します。
- ④ 周波数およびレベルを設定します。
- ⑤ 変調および出力を有効（On）にします。

本書は簡易的な測定手順を記載しておりますが、他の操作でも同様の設定をおこなえます。
詳細な内容について、下記の取扱説明書をご覧ください。

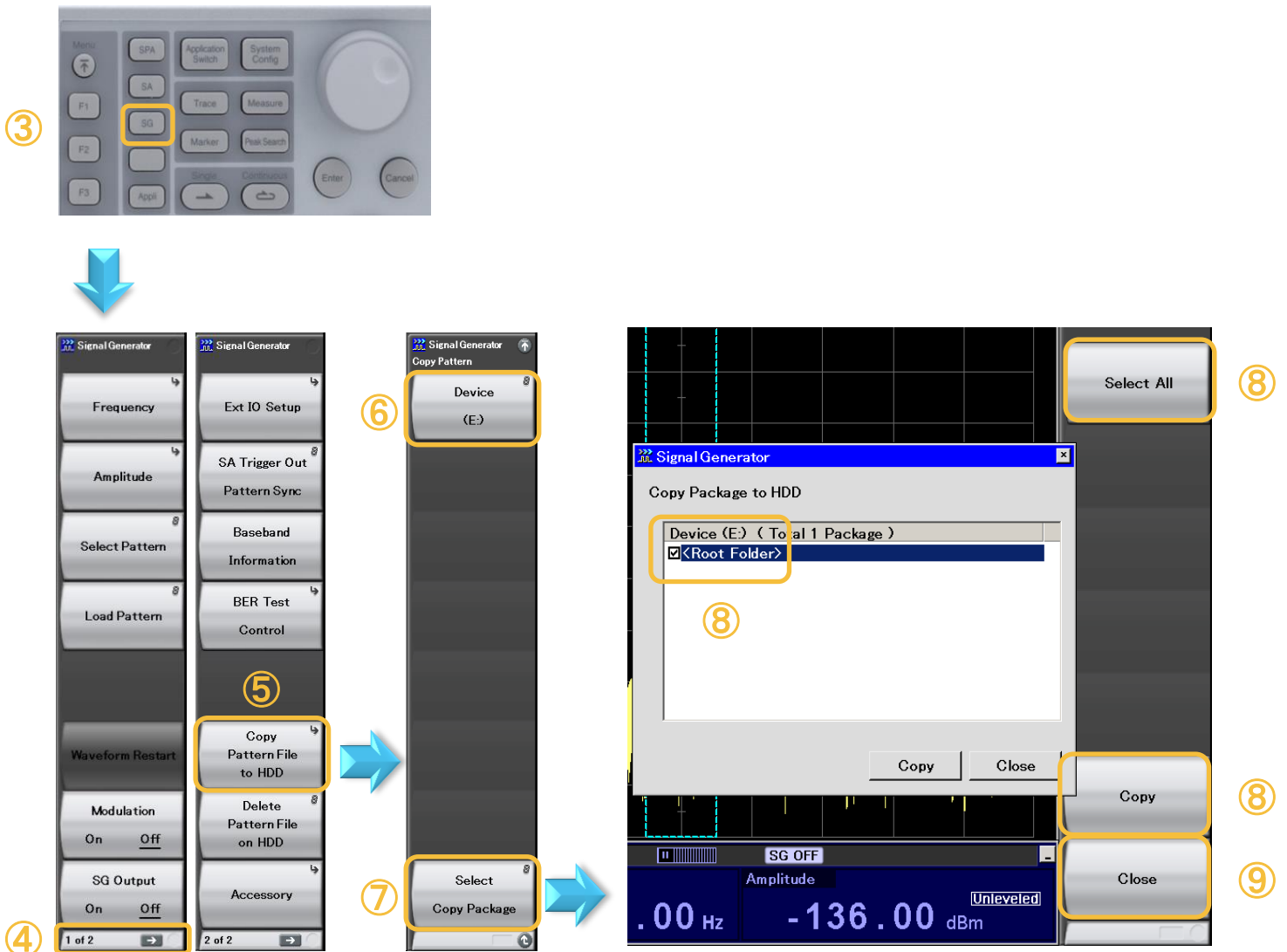
MS2830A/MS2840A シグナルアナライザ ベクトル信号発生器 取扱説明書 操作編

- 2.2 周波数の設定
- 2.3 出力レベルの設定
- 2.4 変調機能の設定
 - 2.4.1 波形パターンをメモリにロードする
 - 2.4.2 波形パターンを選択する
 - 2.4.4 波形ファイルをハードディスクにコピーする
 - 2.4.6 変調信号をOn/Offする

① コピー（Copy）： 外部メモリ ⇒ 本体ハードディスク

【操作手順】

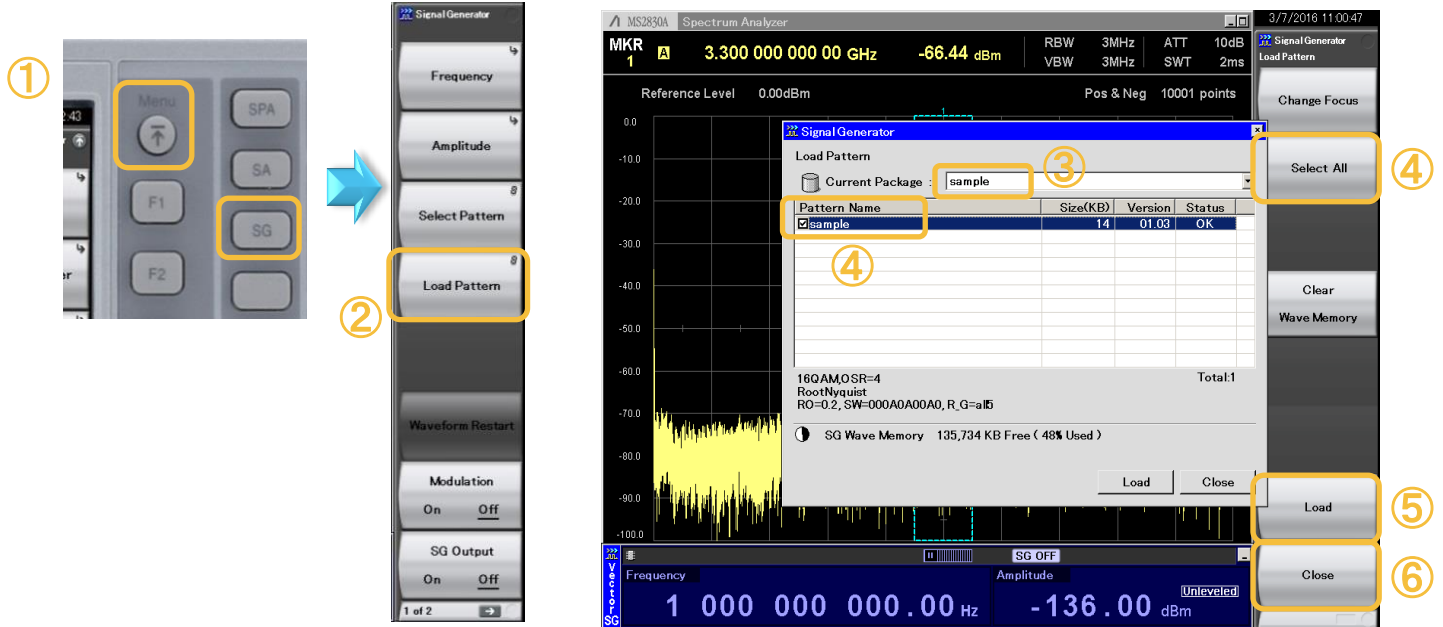
- ① 波形パターン（拡張子 .wviと.wvdでセット）をUSBメモリ等のルートへコピーします。
- ② USBメモリをMS2830Aへ挿入します。
- ③ [SG]* （*: F1右のボタン）
- ④ [→]* 2ページ目へ （*: F8下のボタン）
- ⑤ [F6: Copy Pattern File to HDD]
- ⑥ [F1: Device] USBメモリのドライブを選択して [F7: Set]
- ⑦ [F8: Select Copy Package]
- ⑧ [F2: Select All] で“<Root Folder>”に して、 [F7: Copy]
- ⑨ コピー終了後、 [F8: Close]



② ロード (Load) : 本体ハードディスク ⇒ 本体波形メモリ

【操作手順】

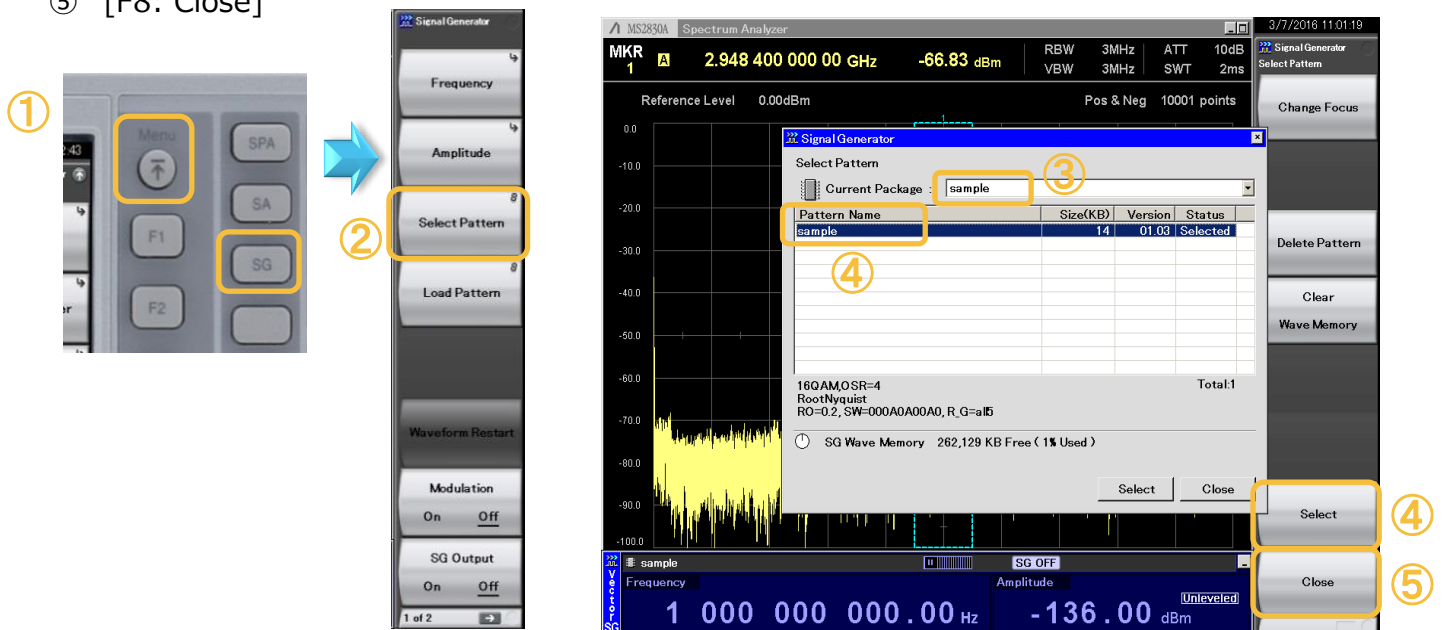
- ① [SG] > [Menu]* (*: F1上のボタン)
- ② [F4: Load Pattern]
- ③ Current Package にカーソルがある状態で [Enter]* (*: ロータリノブ下のボタン)
対象のパッケージにカーソルを合わせて [Enter]
- ④ [F2: Select All]、もしくは 対象の波形パターンにカーソルを合わせて [Enter] し、 を確認
- ⑤ [F7: Load]
- ⑥ [F8: Close]



③ 選択 (Select) : 本体波形メモリの中の波形パターンを選択

【操作手順】

- ① [SG] > [Menu]* (*: F1上のボタン)
- ② [F3: Select Pattern]
- ③ Current Package にカーソルがある状態で [Enter]* (*: ロータリノブ下側のボタン)
対象のパッケージにカーソルを合わせて [Enter]
- ④ 対象の波形パターンにカーソルを合わせて [Enter] もしくは[F7: Select]
Status に Selected と表示されることを確認
- ⑤ [F8: Close]



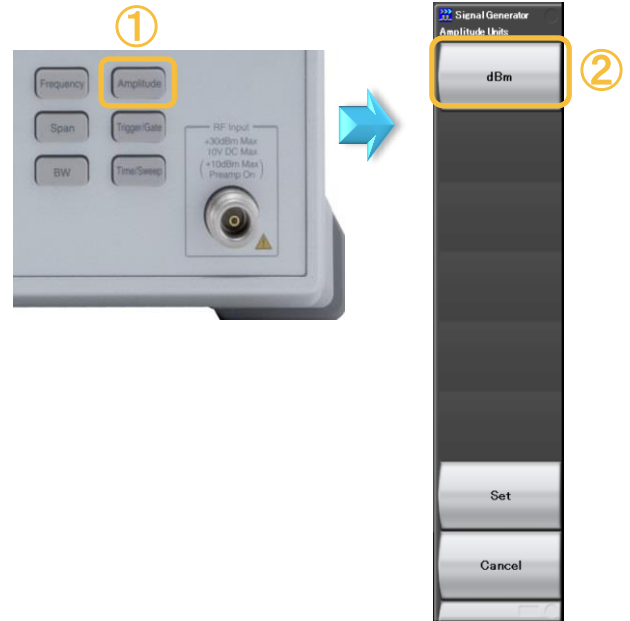
④ 周波数およびレベルの設定

【操作手順】 周波数 (例: 1 GHz)

- ① [Frequency]
- ② テンキーにて [1]、[F1: GHz]

【操作手順】 レベル (例: -10 dBm)

- ① [Amplitude]
- ② テンキーにて [-10]、[F1: dBm]



⑤ 変調および出力を有効 (On)

【操作手順】

- ① [Mod On/Off] On = 緑点灯 ※変調が有効になります。Offの場合、無変調になります。
- ② [SG On/Off] On = 橙点灯 ※信号が出力されます。

